

LMIS
V2.10.0.00
バージョンアップ手順書

目次

| | | |
|----------|---|----------|
| 1 | はじめに | 3 |
| 2 | 「承認者の決定方法」の選択リスト値に「R」を追加 | 4 |
| 2.1 | 概要 | 4 |
| 2.2 | 設定方法 | 4 |
| 3 | 「既存ワークフロー制御フラグ」の選択リスト値に「APPROVAL」と「DRAFT」を追加 | 7 |
| 3.1 | 概要 | 7 |
| 3.2 | 設定方法 | 7 |

1 はじめに

この手順書では、LMIS を V2.10.0.00 にバージョンアップする際に、必要な手順を説明しています。

以下はバージョンアップに必要な手順の概要になります。

| No | 手順の内容 | 実施のタイミング | 必須 |
|----|--|-------------|----|
| 1 | 「承認者の決定方法」の選択リスト値に「R」を追加 | LMIS を導入した後 | 必須 |
| 2 | 「既存ワークフロー制御フラグ」の選択リスト値に「APPROVAL」と「DRAFT」を追加 | LMIS を導入した後 | 必須 |

[注意]

- 本手順書の作業は、必ず「システム管理者」のプロファイルを持つユーザーで行ってください。
- 利用中でもバージョンアップは実施できますが、お客様の設定状態によってはワークフローが誤動作する可能性があります。原則として利用者のいない状況でのバージョンアップを推奨します。

2 「承認者の決定方法」の選択リスト値に「R」を追加

2.1 概要

LMIS コンシェルジュの「承認設定」機能で設定した承認設定を利用するためには、本設定は必ず実施する必要があります。

参考情報

「承認者の決定方法の種類」については、オンラインマニュアル『コンフィグレーションガイド』の「承認者の決定方法の種類」を参照してください。

「承認設定」については、オンラインマニュアル『コンフィグレーションガイド』の「承認設定を定義する」を参照してください。

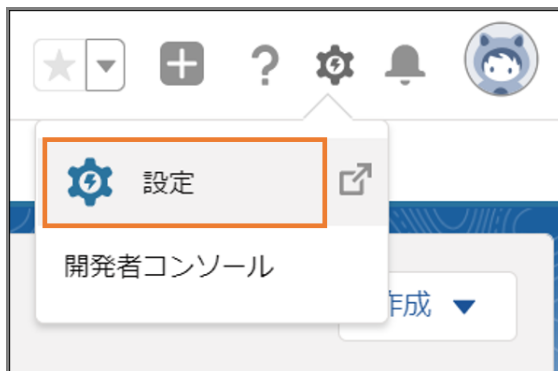
2.2 設定方法

本設定は、以下のオブジェクトすべてに対して実施してください。

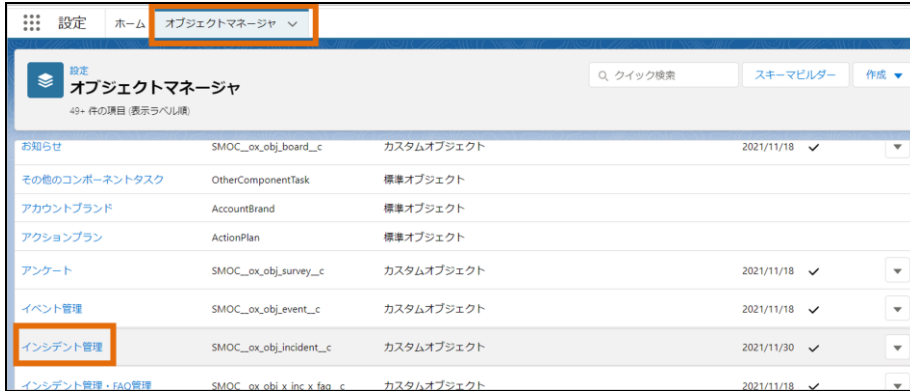
| オブジェクト名 |
|----------|
| インシデント管理 |
| サービス要求管理 |
| 変更管理 |
| タスク |
| リリース管理 |
| 問題管理 |

以下に、設定の手順を説明します。

1. システム管理者でログインします。
2. 画面右上の歯車マークをクリックし、設定画面を開きます。



3. [オブジェクトマネージャ]を選択し、変更を加えるオブジェクトを選択します(本手順ではインシデント管理を選択します)。



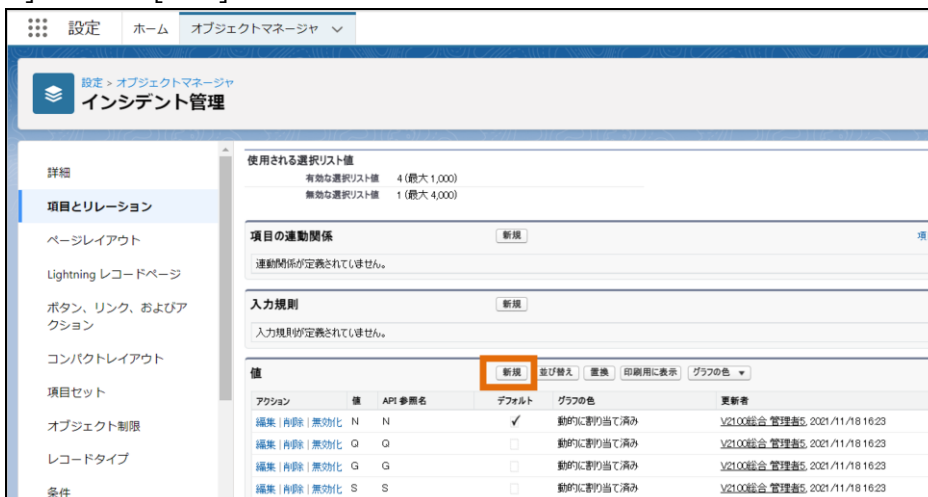
4. [項目とリレーション]を選択します。



5. 検索ボックスに「承認者の決定方法」と入力し、「承認者の決定方法」項目をクリックします。



6. [値]セクションの[新規]ボタンをクリックします。



7. 入力欄に「R」と入力し、[保存]ボタンをクリックします。

※レコードタイプを作成している場合は、レコードタイプのチェックボックスにもチェックを入れて保存します。



これで、「承認者の決定方法」の選択リスト値に「R」を追加する設定は完了です。

3 「既存ワークフロー制御フラグ」の選択リスト値に「APPROVAL」と「DRAFT」を追加

3.1 概要

LMIS コンシェルジュを利用時、コンシェルジュの機能を利用するために本設定は必ず実施する必要があります。

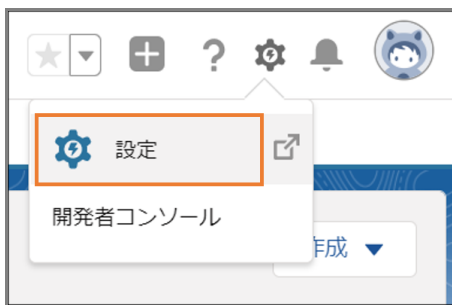
3.2 設定方法

本設定は、以下のオブジェクトすべてに対して実施してください。

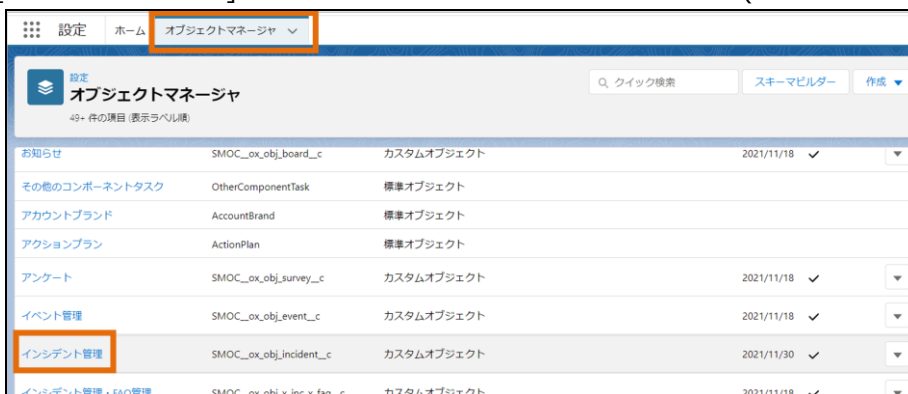
| オブジェクト名 |
|----------|
| インシデント管理 |
| サービス要求管理 |
| 変更管理 |

以下に、設定の手順を説明します。

1. システム管理者でログインします。
2. 画面右上の歯車マークをクリックし、設定画面を開きます。



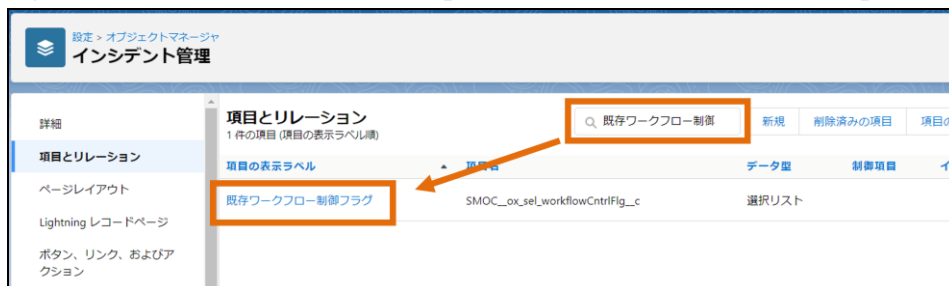
3. [オブジェクトマネージャ]を選択し、変更を加えるオブジェクトを選択します(本手順ではインシデント管理を選択します)。



4. [項目とリレーション]を選択します。



5. 検索ボックスに「既存ワークフロー制御フラグ」と入力し、「既存ワークフロー制御フラグ」項目をクリックします。



6. [値]セクションの[新規]ボタンをクリックします。



7. 入力欄に「APPROVAL」、「DRAFT」と入力し、[保存]ボタンをクリックします。

※レコードタイプを作成している場合は、レコードタイプのチェックボックスにもチェックを入れて保存します。

設定 > オブジェクトマネージャ
インシデント管理

詳細

項目とリレーション

ページレイアウト

Lightning レコードページ

ボタン、リンク、およびアクション

コンパクトレイアウト

項目セット

オブジェクト制限

レコードタイプ

条件

検索レイアウト

Salesforce Classic の検索レイアウト

Restriction Rules

トリガ

選択リスト値の追加
既存ワークフロー制御フラグ

以下の 1 つ以上の選択リスト 値を追加します。値は 1 行につき 1 つ 存在する必要があり、値のラベルと API 参照名の両方で使用されます。
値が、無効な値の API 参照名と一致する場合、その値は以前のラベルと共に再度有効になります。
値が、無効な値のラベルと一致し、API 参照名と一致しない場合、新しい値が作成されます。

APPROVAL
DRAFT

この選択リスト値を特定のレコードタイプに追加するには、追加したいレコードタイプのチェックボックスにチェックを入れてください。

| | 説明 |
|--------------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> | レコードタイプ名 |
| <input type="checkbox"/> | V2100共通_recType1 |
| <input type="checkbox"/> | V2100共通_recType2 |
| <input type="checkbox"/> | V2100共通_recType4 |

保存 キャンセル

これで、「既存ワークフロー制御フラグ」の選択リスト値に「APPROVAL」と「DRAFT」を追加する設定は完了です。

LMIS

V2.10.0.00 バージョンアップ手順書

株式会社ユニリタ

〒108-6029 東京都港区港南 2-15-1
品川インターシティ A 棟

ユニリタサポートセンター: 03-5463-5481

: support@unirita.co.jp

Copyright 2022 UNIRITA Inc.